

ねくすとで作るふきんは、原反を折るところからはじまり、アイロンや端切り、中縫い、ロックなど、たくさんの工程を踏み、検品ののち製品化されます。「前は〇〇さんもミシンやってたよ」とか「コムハウスの2階でやってた時は…」なんて話を聞き、これまでのふきん作りの歴史が長いことを感じております。

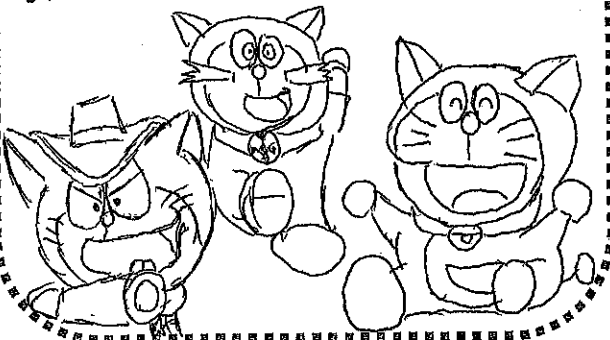
なかまが使うミシンは特殊でとても繊細。ミシンの不調時には専門のミシン屋さんに来てもらい調整してもらいます。ミシンの調整ができるのは現在関わってくださっている職人さんだけだそうです。腕がいいだけではなく、昔ミシンをやっていたなかまの名前を覚えていて話しかけてくれたり、なかまとの昔話と一緒に泣いてくれたりする、とてもステキな職人さんなんです。

歴史があり、今までも現在もたくさんの方が関わっている、なかまにとって大切なふきんの作業。これからも大切にしていきたいと思えます。

豆知識：日本にミシンが持ち込まれたのは1854年、徳川13代将軍家定の時代。ペリーによって献上品として贈られ、奥方の篤姫が初めて使ったといわれています。山口かつえ

すまいる班

今回は、感覚でにおり当てゲームがミニシアターでドラえもんを見たり粗大でボールプールをやりました。におり当てゲームでは調味料のにおいをかぐながまはがんばって当てました。ドラえもんではドラえもんの誕生を見ました。ボールプールではシャチを使ったりもり上がりました。



こもれび班

今回のこもれび班も元気がいい!!
お紅筆に精を出るお紅筆、(不機嫌時間)
ぬいぐるみに集まるお紅筆(お紅筆の時間...)
と本日のこもれび班で毎日皆さん
通訳お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)
お紅筆の時間(お紅筆の時間)



ねくすと

5/14(水)は今年度初のサンスポさんによる運動プログラムを
おこないました。座りながらの運動ですが、ふだん使わないところを
使うので体が刺激され「お紅筆の時間」。
次の日はウォーキングクラブでスカイパークへ!
しっかり体を動かす週となりました。

